

令和3年度 第1学期終業式 校長講話

みなさん、こんにちは。全国的に梅雨が明け、いよいよ夏本番です。夏の暑さが厳しくなってきました。しっかりとした熱中症対策をお願いします。

また、明後日は東京オリンピックの開会式です。一部の競技は本日から始まります。開催に当たっては賛否両論あることはご存じだと思います。将来、「東京オリンピックが高校生の頃にあったよね。」という会話があると思います。歴史の1ページとして記憶にとどめるのもよいかと思えます。

それでは、令和3年度第1学期の終わりにあたり、3つの話をしたいと思います。

一つめは始業式で話したことの確認です。

私は始業式の講話で、2年生と3年生に対して、目標を持つことの大切さについて、私の高校時代の経験を例に挙げて話しました。2年生、3年生は1年間の目標を立てて1学期を過ごせたでしょうか。もし、目標を立てずに過ごしてきた人は、夏休みの間に1学期の生活を振り返りながら、これから先の目標を立ててください。目標を立てて一日・一日を過ごすことの大切さは1年生も同じことです。何のためにこの学校へ入学したのか、卒業後はどうなりたいのかを考えながら、目標を立ててください。

先ほど、九州総体表彰伝達と全国大会壮行式を行いました。表彰伝達は今年度、すでに2回行いましたが、目標を持って練習し続けた結果が、入賞や九州・全国大会出場権獲得へと繋がったことと思います。

行動は目標の有る・無しで変わります。「行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」と言った人もいます。

日頃の行動を振り返り、問題があると思ったら、目標を見直してみてもどうかと思います。目標を立てて行動を変え、生活習慣が変われば、さらに成長できると思います。

二つめは、学校名の由来となった飫肥藩の藩校「振徳堂」が目指していた『「人の人たる道」の修業』ということについて話します。

県高校総体の開催前には、地域の方々から応援の言葉をいただき、終わった後はお祝いや労いの言葉をいただきました。また、全国高校野球宮崎県予選での堂々とした戦い方について、多くの方々からお褒めの言葉を頂きました。皆さんの活躍が、地域を盛り上げ、元気付けていることは事実です。

ところで、日常の目立たない行動について、地域の方から感謝の言葉をいただくことができました。クラスで紹介されたと思いますが、「振徳の生徒には、コロナ禍の中、爽やかさ、元気と力ももらっています。」と書かれた匿名の方からのお手紙をいただきました。その中には、

- 散歩中、すれちがう度にいつも感じの良い、気持ちの良い挨拶をもらっています。
- グランドからの大きな声にも励まされています。
- 楽器の練習も小鳥の声とともに聞こえてきます。

という言葉も添えられていました。

皆さんの何気ない日頃の学校生活や行動が地域の皆さんのお役に立てていることは、この地域における、この学校の大きな存在意義の一つであると思います。

私が2週間ほど前の朝7時頃に見かけた登校の様子ですが、今町一丁目交差点で一列に並んで青信号が変わるのを待っている自転車通学生の姿を見ました。他の歩行者の通行の妨げにならないよう交差点から離れたところに待機し、歩道右側を広く空けて左端に一列に並んでいました。

たぶん、その生徒たちは、そうすることが習慣になっているのだと思います。その習慣化された当たり前の行動は、地域の皆さんにとって、急いでいるのを邪魔されない、交通事故の原因をつくらないという、役に立つ行動ということになります。

本校の校名である「振徳」の由来となった「振徳堂」の教育は、『人の人たる道』の修業に努めることが目的でしたが、『人の人たる道』というのは、このような習慣化された良い行動のことであると私は思います。

良い行動を積み重ねて、良い習慣を身に付けることが『人の人たる道』の修業であり、その場限りではない良い習慣を身に付けた人こそ、これからの社会で必要にされると思います。

皆さんも「人の人たる道」ということについて考えてみてください。

3つめに、新型コロナウイルス感染症対策についてお話しします。

少し話が逸れます。私たちの食料となる家畜にもウイルスが原因の病気があり、特に被害が拡大しやすい家畜伝染病については、全国トップの鶏肉生産を誇る宮崎県では、農家だけではなく、鶏の輸送を担う運送業界等の関係者も、法律で決められている感染対策ルールを厳重に守っています。それでも昨年11月から今年2月にかけて、県内12カ所で鳥インフルエンザが発生し、宮崎県内の約92万羽の鶏が殺処分されました。7ヶ月程前、私も鳥インフルエンザの殺処分に4回関わりました。現場はとても悲惨です。ちなみに、あの作業の従事者はボランティアではなく、業務として関係する職場から派遣された人です。

この鳥インフルエンザウイルスを防ぐのが困難な一番の理由は、ウイルスが目に見えないことです。鶏を生産する施設を鶏舎と言います。農家や畜産関係者は、常に鶏舎の外にはウイルスがいることを前提に、関係者以外を立ち入り禁止にし、関係者も消毒を徹底する等、感染拡大を防いでいます。

人に感染するコロナウイルスも私たちには見えません。見えないからこそ、そこにあるものと仮定して行動することが対策となります。自分はウイルスに感染していると仮定してマスクを着用し、どこかでウイルスが付着したと仮定して手指を消毒するという行動の習慣化が必要です。感染拡大防止のために、そのような生活様式を各自で習慣にしてください。

夏休みに入ると人と人との交流が盛んになります。大半の人は、マスク着用と手指消毒が習慣化していると思いますが、コロナに感染しない、感染させないという気持ちを持って、できる限りの対策を皆さん一人ひとりが心がけてください。

今日は終業式にあたり3つ話しましたが、「目標を達成するための行動の習慣化」、「良い行いの習慣化」、「コロナウイルスに感染しない、感染させない行動の習慣化」は、本校の生徒全員に共通する取組です。

2学期になりますと、3年生は就職のための採用試験や進学のための入学試験が始まります。また、皆さんが楽しみにしている体育行事や文化行事等も計画されています。安全に気を付けて夏休みを過ごし、全校生徒で元気に2学期を迎えましょう。以上で講話を終わります。

令和3年7月21日

宮崎県立日南振徳高等学校 校長 山下 勉